

令和7年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科総合型選抜入試問題

表現領域受験（美術受験）筆記試験

『出題の意図・評価ポイント』

**美術に関する基礎的知識及び美術文化全般に対する関心の深さと理解力を問う検査**

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和7年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

**【出題の意図・評価ポイント】**

問題Ⅰ 美術作品を鑑賞する能力（専門性）、鑑賞を踏まえた作品理解（思考力）、制限時間内に作品を説明する論理的描写力（表現力）を問う問題である。

これまでに実践してきた美術作品の鑑賞の態度と読解の能力を見るとともに、特に視覚的・造形的な美術作品を、他者にもわかりやすい平明な言葉に置き換え説明することができるか、作品に対する自分の考えを論理的説得力をもって表現することができるかどうかについて評価した。

問題Ⅱ 問題Ⅰは美術作品を対象としたが、問題Ⅱではデザイン作品を対象とし、やはり鑑賞能力（専門性）や作品理解（思考力）、論理的描写力（表現力）を問っている。評価基準は問題Ⅰと大きくは変わらない。

問題Ⅲ 社会の中のアートの位置付けに関して思考し、自分の考えを論理的に説明する能力を問う問題である。この問題においても、自分の考えを説得力をもって表現できるかどうかで評価している。